

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	臓器連関の視点から俯瞰する筋・骨恒常性維持機構の解明－健康寿命増進治療法の開発－
研究代表者	竹田 秀 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科・教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者らは、神経と筋肉・骨の臓器連関による筋・骨格系の恒常性維持機構の解明を世界に先駆け進めてきた。本研究では、応募者らが中心となって開発した骨・軟骨透明化技術を始め、オプトジェネティクス、ケミカルジェネティクスなどの最新技術を活用し、神経・血管由来の筋肉・骨幹細胞の分化制御因子とその作用の同定を目指しており、恒常性維持機構の本質に迫る研究が期待できる。独創性の高さ、過去の実績、共同研究を含めた研究組織の充実等を考慮すると実現性は高く、国際的にも高レベルの研究成果が期待できる。また将来的には運動器疾患の克服に向けた臨床応用も期待でき、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>